



中高生が社会貢献に取り組む



自分たちの手で社会に貢献できることを探そうと町内の中学校、当別高校、ジュニアリーダーの代表が集まり、1月に引き続き2回目のタウンミーティングを開催しました。

メンバーが積極的に意見を出し合い、話し合いを進めた結果、各学校ごとにペットボトルのキャップを集め、世界の子どもたちにワクチンを届ける活動に取り組むことを決定しました。4月から5月にかけて各学校で取り組みます

(3月14日 総合体育館)

熱唱 カラオケ大会



当別町カラオケ連合会が第14回当別町長杯争奪カラオケ大会を開催しました。

町内はじめ、紋別市からの出場者もあり、約100名がシニアの部、一般の部にエントリーし、自慢の「のど」を披露し、会場に集まった大勢のカラオケファンを沸かせました。

また、ゲストとして歌手の城山さとみさんが出演し大会に花を添えました。

(3月22日

白樺コミュニティセンター)

AEDの寄贈



札幌エルピーガス協会石狩支部より町教育委員会へAED（自動体外式除細動器）1台が寄付されました。このAEDは、弁華別中学校に設置し、不測の事態に備えます。(2月26日 弁華別中学校)

広 告

共生の精神を学ぶ



NPO 法人ゆうゆう 24 が当別町ボランティアフォーラムを開催しました。

第 1 部では、北海道医療大学看護福祉学部の横井寿之教授が基調講演を行い、障がいを持つ方をとりまく現状を説明し、地域の中で障がいを持つ方を受け入れるシステム作りが必要と訴えました。

第 2 部のシンポジウムでは、障がいを持ちながら町内で働く 6 人の方がそれぞれの仕事の目標、やりがいなどを発表しました。

(3 月 14 日 ゆとろ)

除雪ボランティア



冬の除排雪が困難な高齢者や障害者のいる世帯を対象に、緊急時の脱出口や日常生活に必要な通路を確保するための除雪ボランティア活動が行われました。

参加したのは、町社会福祉協議会の呼びかけに賛同した、北海道医療大学生、航空自衛隊員ら約 30 名。

また、当別町日赤奉仕団の団員が、昼食に豚汁の炊き出しを行い、ボランティア参加者の体を温めていました。

(2 月 27 日 末広団地)



告 白